

## 専攻実習 I

講師名	三好 智子	実務経験等	高校教諭としての実務経験を活かし、花きの生育状況を把握する能力と生育に応じた管理技術、販売のための技術を習得するための実習を行う。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専攻科目	農産園芸・花き	必修	1	通年	360	8
使用教科書・副教材	令和2年度花き栽培技術指針(岩手県) 令和3年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針(岩手県)					
授業の目的	岩手県の主要花き品目や卒業研究対象品目の栽培管理を通じて、作物の生理・生態を理解し、基礎的な栽培管理技術及び収穫・調製技術を習得する。					
授業の到達目標	作物の生理・生態を理解し、基礎的な栽培管理作業及び収穫・調製作業を実践できる。					

月	学 習 項 目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	育苗技術 圃場準備～定植 (培土作製～鉢上げ)	花きの育苗技術を習得する。	8	講義 実習	
5月		圃場準備から定植までの作業を通じて、技術を習得する。	50		
6月	栽培管理技術 病害虫防除技術	作物の生理・生態を理解し、基礎的な栽培管理技術を習得する。	14	実習	
7月		主要病害虫の診断と防除技術を学び、適正で安全な農薬使用・散布手順を習得する。	38		
8月	収穫・調製技術 販売手法	適切な収穫時期(切り前)の判断や、規格に基づく選花・調製など、収穫・調製技術を習得する。	4	実習	
9月		農大祭での対面販売や産直販売を通じて、消費者の嗜好や販売手法を学ぶ。	24		
10月			48		
11月	親株管理技術	親株の管理技術を習得する。	48	実習	
12月	調査手法・ 卒業研究の計画作成	生育調査及び収穫調査(収量、品質)の手法、データ整理の方法を習得する。	34	講義 実習	卒業研究計画書 計画発表会
1月		次年度の卒業研究計画書を作成する。	24		
2月			22		
3月	育苗技術(播種)	主要品目の播種や育苗管理の方法を習得する。	32	実習	
4～3月	生産工程管理	ASIAGAPに準じて実践し、生産工程管理手法について理解を深める。	14	実習	
		合計	360	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験は実施せず、以下により評価する。

習熟点: 70%(技術の習熟度、受講態度、レポート)

平常点: 30%(出席状況)

履修に当たっての留意点等

作物の生育状況や天候等により、他の講義と入れ替わる場合があること。  
卒業研究に連動して、学習事項を変更する場合があること。